第５講　美術史

1　古代の美術

①飛鳥（あすか）文化の仏像彫刻（飛鳥仏）

中国の雲崗（うんこう）石仏・竜門（りゅうもん）石仏の影響。アルカイックスマイル〔古拙（こせつ）の微笑（えみ）〕を浮かべる。

A　**北魏（ほくぎ）様式**

力強く端正（たんせい）で硬（かた）い表現，左右対称の幾何学（きかがく）的な衣文（えもん）。

あ　**飛鳥寺釈迦如来（しゃかにょらい）像〔飛鳥大仏〕**

☆**鞍作鳥（くらつくりのとり）〔止利（とり）仏師〕**の作，**わが国最古の仏像**。

い　**法隆寺金堂釈迦三尊（さんぞん）像**

☆**鞍作鳥**の作。

う　**法隆寺夢殿救世（ぐぜ）観音（かんのん）像**

☆明治前期に**アメリカ人フェノロサ**と岡倉天心が調査。

B　**南梁（なんりょう）様式**

柔和（にゅうわ）で丸みのある写実的表現，自然な変化のある衣文。

あ　**法隆寺百済観音（くだらかんのん）像**

い　**中宮寺半跏思惟（はんかしい）像〔弥勒菩薩（みろくぼさつ）像〕**

う　**広隆寺半跏思惟像〔弥勒菩薩像〕（山背国）**

②飛鳥文化の工芸

A　**法隆寺玉虫厨子（たまむしのずし）**

須弥座（しゅみざ）絵・扉（とびら）絵は，古墳壁画を除くわが国最古の絵画。

B　法隆寺**獅子狩文様錦（ししかりもんようきん）**

C　法隆寺**竜首水瓶（りゅうしゅすいびょう）**

D　法隆寺伎楽面（ぎがくめん）

E　**中宮寺天寿国繡帳（てんじゅこくしゅうちょう）**

聖徳太子の妃（きさき）の一人であった橘大郎女（たちばなのおおいらつめ）が，采女（うねめ）たちにつくらせたもの。

F　**忍冬唐草文様（にんどうからくさ）**

スイカズラのような蔓草（つるくさ）を図案化。エジプトやギリシアに発し，中国を経て伝来。

③白鳳(はくほう)文化の仏像彫刻（白鳳仏）

A　**興福寺仏頭(ぶっとう)**

もと**山田寺**薬師三尊像の本尊。

B　**薬師寺金堂(こんどう)薬師三尊像**

C　**薬師寺東院堂聖観音像(とういんどうしょうかんのん)**

D　**法隆寺阿弥陀三尊像**〔橘(たちばな)夫人念持仏(ねんじぶつ)〕

E　**法隆寺夢違(ゆめたがい)観音像**

④白鳳文化の絵画

A　**法隆寺金堂壁画**（1949年焼損）

アジャンター石窟(せっくつ)壁画（インド）や敦煌(とんこう)石窟壁画（中国）に類似(るいじ)。その焼損は**文化財保護法制定**（1950年）の契機となる。

B　**高松塚古墳壁画**（1972年発見）

高句麗の古墳壁画に類似。星宿(せいしゅく)・男性群像・**女性群像**・四神(しじん)〔東＝青竜(せいりゅう)，西＝白虎(びゃっこ)，南＝朱雀(すざく)，北＝玄武(げんぶ)〕などが描かれるが，朱雀は現存せず。

☆カビが発生するなど劣化(れっか)が進み，石室が解体され壁画を修復。

C　**キトラ古墳壁画**

ファイバースコープを用いた石室内の調査により，星宿・十二支の獣頭人身図・四神などの壁画が発見される。

☆劣化が進み，石室内の壁画をはぎ取り修復。

D　上淀廃寺(かみよどはいじ)金堂壁画（伯耆国(ほうきのくに)）

⑤天平文化の仏像彫刻(天平仏)

A　**塑像**(木を芯とし粘土を塗り固めた像)

あ　**東大寺法華堂日光・月光菩薩像**

い　**東大寺法華堂執金剛神像**

う　**東大寺戒壇院四天王像**

☆東西南北に持国天・広目天・増長天・多聞天。

え　新薬師寺十二神将像

☆最古の十二神将像。

B　**乾漆像**(麻布を漆で塗り固め原型を抜き取った像)

あ　**東大寺法華堂不空羂索観音像**

い　**興福寺八部衆像**(**阿修羅像**など)

う　**興福寺十大弟子像**

え　**唐招提寺鑑真和上像**

お　**聖林寺十一面観音像**

⑥天平文化の絵画・工芸

A　**薬師寺吉祥天像**

B　**正倉院鳥毛立女屏風**

☆唐の「**樹下美人図**」の構図を採用。

C　**過去現在絵因果経**

☆釈迦の前世を描く絵巻物の源流。

D　**正倉院宝物**

光明皇太后が東大寺に寄進した**聖武太上天皇の遺愛品**。**シルクロード〔絹の道〕**経由の**西域の工芸品**など約9000点。

☆**螺鈿紫檀五絃琵琶**，漆胡瓶，白瑠璃碗，紺瑠璃杯，銀薫炉など。

☆**正倉院文書**も多数残存。

E　**百万塔陀羅尼**

称徳天皇が恵美押勝の乱(764年)の戦没者慰霊のため十の大寺に寄進した木製の小塔が百万塔。内部におさめられた陀羅尼(経)は，現存最古級の印刷物。

F　東大寺大仏殿八角灯籠

⑦弘仁（こうにん）・貞観（じょうがん）文化の彫刻

頭部と胴体を一本の木で作る**一木造**（いちぼくづくり）が主流。衣文（えもん）は力強い**翻波式**（ほんぱしき）で，豊満（ほうまん）・神秘的な像が多い。

A　**室生寺金堂釈迦如来像（大和国）**

B　**室生寺弥勒堂**（みろくどう）**釈迦如来（坐**（ざ）**）像**

C　**元興寺**（がんごうじ）**薬師如来像（大和国）**

D　**神護寺**（じんごじ）**薬師如来像**

E　新薬師寺薬師如来像（大和国）

F　**法華寺十一面観音像（大和国）**

G　**観心寺**（かんしんじ）**如意輪観音**（にょいりんかんのん）**像（河内国）**

H　**教王護国寺講堂不動明王**（ふどうみょうおう）**像**

I　**薬師寺僧形八幡神**（そうぎょうはちまんしん）**像（大和国）**

☆神仏習合を示す好例。

J　薬師寺神功（じんぐう）皇后像

⑧弘仁・貞観文化の絵画

密教芸術が進展。

A　**曼荼羅**（まんだら）

密教の**金剛界**（こんごうかい）と**胎蔵界**（たいぞうかい）を図化した**両界曼荼羅**が隆盛。

あ　**神護寺両界曼荼羅**

☆現存最古の曼荼羅。神護寺の所在地から高雄曼荼羅ともいう。

い　**教王護国寺両界曼荼羅**

B　**不動明王像**

不動明王は密教の中心仏である大日如来の化身（けしん）。

あ　**園城寺**（おんじょうじ）**不動明王像**　　〔**黄**（き）**不動**〕**（近江国）**

☆円珍が感得し画工に描かせたとされる。

い　高野山明王院（みょうおういん）不動明王像〔赤不動〕（紀伊国）

☆円珍が描いた？

⑨弘仁・貞観文化の書道

嵯峨天皇，**空海〔弘法大師〕**，**橘逸勢**(たちばなのはやなり)を，力強い唐風書道〔**唐様**(からよう)〕の三名手として**三筆**(さんぴつ)と呼ぶ。

A　**風信帖**(ふうしんじょう)

空海が最澄にあてた手紙。

B　久隔帖(きゅうかくじょう)

最澄が弟子の泰範(たいはん)にあてた手紙。

⑩国風文化の仏教美術

A　彫刻

仏所(ぶっしょ)において**寄木造**(よせぎづくり)で阿弥陀如来像を大量生産し，浄土教〔浄土信仰〕流行の需要に応(こた)えた。

あ　**平等院鳳凰堂阿弥陀如来像**

☆仏師の**定朝**(じょうちょう)が制作。周囲に52体の雲中供養菩薩像(うんちゅうくようぼさつぞう)を従える。

い　**法界寺阿弥陀如来像**

う　浄瑠璃寺(じょうるりじ)九体阿弥陀仏

B　絵画

往生する人を迎えるため阿弥陀如来が来臨(らいりん)する場面を描く，**来迎図**(らいごうず)の制作が流行。

あ　**高野山聖衆来迎図**(しょうじゅ)(紀伊国)

い　**平等院鳳凰堂扉絵**(とびらえ)

う　青蓮院(しょうれんいん)不動明王像〔青不動〕

⑪国風文化のその他美術

A　絵画

従来の唐絵とともに，日本の風物を題材としてなだらかな線と上品な彩色をもつ**大和絵**が発達。

☆平安前期の百済河成に続き，９世紀に**巨勢金岡**らが活躍。

B　書道

平安前期の力強い唐様に対し，流麗・優美な**和様**が発達。**小野道風**(『屏風土代』『秋萩帖』)・**藤原佐理**(『**離洛帖**』)・**藤原行成**(世尊寺流の祖，『**白氏詩巻**』)の三名手を**三蹟**〔**三跡**〕という。

C　工芸

蒔絵(＝漆で文様を描き，金銀粉を蒔きつけて漆器の模様とする)や**螺鈿**(＝貝殻の真珠光部分を薄片にして漆器に埋め込む)などの技法が発達。輸出品としても珍重された。

２　中世の美術

①院政期の文化の美術

A　往生極楽院阿弥陀如来像（山城国）⇒京都郊外の大原の三千院

B　中尊寺一字金輪像（陸奥国）⇒平泉

C　**臼杵磨崖仏**（豊後国）

D　**絵巻物**

大和絵と詞書をおりまぜて時間の進行を表現。同一画面内に同一人物が複数回登場する，異時同図法も用いられる。

あ　**源氏物語絵巻**（藤原隆能）

☆引目鉤鼻・吹抜屋台が二大技法。

い　**伴大納言絵巻〔絵詞〕**（常磐光長）

☆**応天門の変**で伊豆国に配流された，大納言**伴善男**を描く。

う　**信貴山縁起絵巻**

☆奈良県の朝護孫子寺に伝わる，命蓮という僧の霊験談。

え　**鳥獣戯画**　（**鳥羽僧正**覚猷）

☆京都郊外の**高山寺**が所蔵する，詞書のない軽妙で風刺的な絵巻物。

お　年中行事絵巻

☆後白河上皇の命で宮廷行事を描いたもの。

E　**装飾経**→大和絵＋法華経などの写経

あ　**扇面古写経**

☆下絵に大和絵の手法で京都市中の民衆生活を描く。

い　**平家納経**

☆平清盛ら平氏一門が，繁栄を祈願するため**厳島神社**に奉納。

②鎌倉文化の彫刻（力強い写実性と躍動感（やくどうかん）に富む）

鎌倉初期の南都（なんと）復興に際する，康慶（こうけい）を祖とする**慶派（けいは）**の**奈良〔南都〕仏師**たちの活躍。

A　仏像彫刻

あ　**東大寺南大門金剛力士像**　　**（運慶・快慶・湛慶（たんけい）ら）**

☆**阿形（あぎょう）像**と**吽形（うんぎょう）像**。

い　**東大寺僧形（そうぎょう）八幡神像**　　**（快慶）**

☆重源（ちょうげん）〔俊乗房・俊乗坊（しゅんじょうぼう）〕の命で制作。

う　**蓮華王院（れんげおういん）本堂千手（せんじゅ）観音像**　　**（湛慶）**⇒京都

え　興福寺金剛力士像　　（定慶（じょうけい））

お　**興福寺天灯鬼（てんとうき）像・竜灯鬼（りゅうとうき）像**　**（康弁（こうべん））**

か　**高徳院（こうとくいん）阿弥陀像〔鎌倉大仏〕**　⇒鎌倉

☆室町時代，大地震で起きた津波により大仏殿は倒壊。

B　肖像彫刻

あ　**興福寺無著（むちゃく）像・世親（せしん）像**　**（運慶）**

い　**六波羅蜜寺（ろくはらみつじ）空也（くうや）上人（しょうにん）像**　**（康勝（こうしょう））**⇒京都

う　明月院（めいげついん）上杉重房（しげふさ）像⇒鎌倉

え　**東大寺重源上人（しょうにん）像**

☆おそらく慶派の仏師が制作。

③鎌倉文化の絵画（写実性に富む）

A　絵巻物（民衆の教化にも利用）

あ　合戦物（かっせんもの）

☆『**後三年合戦絵巻**』，『**平治物語絵巻**』，『**蒙古（もうこ）襲来絵巻〔絵詞（えことば）〕**』（肥後国の御家人**竹崎季長（たけざきすえなが）**が描かせる）など。

い　縁起物（えんぎもの）

☆『**北野天神縁起絵巻**』（菅原道真の伝記），『**春日権現験記（かすがごんげんげんき）**』（高階隆兼（たかしなのたかかね）），『**石山寺縁起絵巻**』，『粉河寺（こかわでら）縁起絵巻』『山王霊験記絵巻』など。

う　伝記物

『**法然上人（しょうにん）絵伝**』，『**一遍上人絵伝〔一遍聖絵（ひじりえ）〕**』（円伊（えんい）），『鑑真和上（わじょう）東征絵伝』など。

え　その他

『**男衾（おぶすま）三郎絵巻**』（東国の地方武士の生活を描く），『紫式部日記絵巻』。

B　肖像画（個性に対する関心の高まり）

あ　**似絵**（個人の記録的肖像画）

『源頼朝像』『平重盛像』？（ともに神護寺が所蔵，**藤原隆信**）

『後鳥羽上皇像』　（水無瀬神宮〔摂津国〕が所蔵，**藤原信実**）

『親鸞上人像〔鏡の御影〕』（西本願寺が所蔵，専阿弥）

『明恵上人樹上坐禅図』　（高山寺が所蔵，成忍）⇒これは似絵ではない

い　**頂相**（禅僧の肖像画）

C　その他

『地獄草紙』『餓鬼草紙』『病草紙』『天狗草紙』など

④鎌倉文化の書道

伏見天皇の皇子**尊円入道親王〔尊円法親王〕**が，和様の世尊寺流（藤原行成）に宋の書風を加味した**青蓮院流**を創始。代表作『鷹巣帖』。

☆平明高雅な書風は，江戸時代に御家流に発展。

⑤鎌倉文化の工芸

A　武器・武具

あ　**刀剣**

☆**粟田口吉光〔藤四郎吉光〕（京都）**，**岡崎正宗（鎌倉）**，**長船長光（備前国）**など。

い　**甲冑**⇒赤糸威鎧など。

明珍（京都）

B　**陶器**

道元に従い入宋した**加藤景正〔藤四郎〕**が**瀬戸焼（尾張国）**を創始？

☆その他に**常滑焼（尾張国）**，**越前焼（越前国）**，**珠洲焼（能登国）**，**信楽焼（近江国）**，**備前焼（備前国）**などが隆盛。

☆青磁・白磁などの磁器は中国から輸入され，唐物として珍重された。

⑥室町文化の絵画・工芸

A　南北朝文化

あ　**水墨画**⇒禅の精神的境地を墨の濃淡で具体化
　　布袋図（黙庵）
　　寒山図（可翁）

い　絵巻物
　　慕帰絵詞⇒本願寺３世覚如の一代を描く

B　北山文化⇒**水墨画の発達**

あ　五百羅漢図（**明兆**〔兆殿司〕）　⇒東福寺の画僧

い　妙心寺退蔵院**瓢鮎図（如拙）**　⇒相国寺の画僧
　　☆４代将軍足利義持の命で描く。

う　**寒山拾得図（周文）**　⇒相国寺の画僧，幕府御用絵師

C　東山文化⇒水墨画と大和絵の発展

あ　**水墨画**
　　四季山水図巻〔山水長巻〕（雪舟）
　　秋冬山水図　（　〃　）
　　天橋立図　（　〃　）
　　☆雪舟の絵を学んだ雪村も，戦国期に東国で活躍。

い　**土佐派**⇒**朝廷絵所預**や幕府御用絵師となり，大和絵を発展させる。
　　清水寺縁起絵巻　（**土佐光信**）

う　**狩野派**⇒周文・小栗宗湛のあとをうけ，**幕府御用絵師**となる。
　　周茂叔愛蓮図　（**狩野正信**）
　　大仙院花鳥図　**（狩野元信）**

D　工芸

あ　**金工**
　　後藤祐乗が８代将軍義政に仕える。

い　漆工
　　高蒔絵の技法が発展。８代将軍義政の遺愛品に名作が多い。

う　彫刻
　　能面の製作（小面〔若い女性〕・翁〔老人〕・般若〔霊〕など）

３　近世の美術

①桃山文化の絵画

襖・障子・壁・屏風に**濃絵**〔金碧画〕や水墨画で描かれる，**障壁画**〔障屏画〕が主流。

☆**狩野派**の活躍が目立つ。

A　花鳥図

あ　**唐獅子図屏風（狩野永徳）**

い　**檜図屏風**　　（　〃　）

☆狩野永徳は元信の孫。弟の元秀も織田信長の肖像画で有名。

う　**松鷹図**　　（**狩野山楽**）　⇒水墨画

え　**牡丹図**　　（　〃　）

☆狩野山楽は永徳の門弟。

お　**智積院襖絵**　（**長谷川等伯**ら）

か　**松林図屏風**　（**長谷川等伯**）⇒水墨画

き　**山水図屏風**　（**海北友松**）　⇒水墨画

B　**風俗画**

あ　**洛中洛外図屏風（狩野永徳）**

い　**花下遊楽図屏風**（狩野長信）

う　**高雄観楓図屏風**（狩野秀頼）

え　**職人尽図屏風**　（狩野吉信）

お　豊国祭礼図屏風（狩野内膳）

C　**南蛮屏風**

狩野派を中心に日本人が制作

②桃山文化の彫刻・工芸

A　**透し彫**の**欄間彫刻**が隆盛

B　建築装飾や家具調度品などにも蒔絵を使用⇒**高台寺蒔絵（京都）**

③寛永期の文化の美術

A　**狩野派**

狩野永徳の孫の探幽が**幕府御用絵師**となり江戸へ下るが，以後狩野派はマンネリズムに陥る。

あ　**大徳寺方丈襖絵　（狩野探幽）**

い　**夕顔棚納涼図屏風（久隅守景）**⇒狩野探幽に破門される

B　**装飾画**

大胆な構図と洒脱で濃艶な装飾性をもつ大和絵。

◇　**風神雷神図屏風（俵屋宗達）**⇒京都の町衆出身

C　風俗画

◇　**彦根屏風**⇒彦根藩井伊家が所蔵

D　陶磁器

茶道の大成による需要増大や朝鮮侵略による陶工の来日により，焼物が隆盛。

☆**有田焼〔伊万里焼〕（肥前藩，李参平が創始），薩摩焼（薩摩藩），萩焼（長州藩）**，上野焼（小倉藩），高取焼（福岡藩），**唐津焼（唐津藩）**，平戸焼（平戸藩）などが**お国焼**の代表。

☆他に**楽焼（京都）**，志野焼（美濃国），織部焼（尾張国・美濃国）など。

E　絵付け

酒井田柿右衛門が上絵付法による有田焼〔伊万里焼〕の**赤絵**を完成。

☆**色絵花鳥文深鉢**など。

F　蒔絵

舟橋蒔絵硯箱　　　（**本阿弥光悦**）

☆光悦は，家康から京都郊外の鷹ヶ峰に土地を与えられ芸術村を形成。楽焼の制作や角倉素庵との**嵯峨本**（装飾本の一種）出版などでも有名。

④元禄期の文化の美術

A　絵画

あ　**狩野派**

幕府御用絵師として画壇に君臨するが，マンネリズムにより衰退。

☆破門された？英一蝶は風俗画で注目を浴びる。

い　**土佐派**

土佐光起が**朝廷絵所預**となり土佐派を再興するが，画風は停滞。

☆代表作は『秋郊鳴鶉図』。

う　**住吉派**

土佐派から分離した**住吉如慶**が住吉派を名乗り，子の**住吉具慶**が**幕府御用絵師**となり江戸に大和絵を広めるが，創造性に欠け衰退した。

☆代表作は『**洛中洛外図巻**』。

え　**琳派〔光琳派〕**

本阿弥光悦・俵屋宗達の影響を受けた**京都**の**尾形光琳**が，装飾画において光琳模様を完成。代表作は『**紅白梅図屏風**』『**燕子花図屏風**』。

☆光琳は蒔絵『**八橋蒔絵（螺鈿）硯箱**』も制作。

お　**浮世絵**⇒おもに世態・風俗を描く庶民的絵画

江戸の**菱川師宣**が浮世絵版画を創始。当時，一枚絵は少なく，多くは絵本・挿絵本。

☆代表作の『**見返り美人図**』**は肉筆画**。

B　工芸・その他

あ　陶磁器

京都の**野々村仁清**が上絵付法をもとに色絵を完成，**京焼**の大成者となる。代表作は『**色絵藤花文茶壺**』『色絵月梅文茶壺』『色絵吉野山図茶壷』。

☆仁清に学んだ**尾形乾山**（光琳の弟）も活躍。

い　染物

京都の**宮崎友禅**が，**友禅染**（京友禅）を創始。

☆のち加賀藩前田家で加賀友禅も興る。

う　**鉈彫**

ノミで彫った跡を木の表面に残す，荒削りで素朴な作品。美濃国出身の**円空**が蝦夷地を含む全国を行脚し，各地で仏像（円空仏）・神像を制作。代表作は『**両面宿儺像**』『護法神像』。

⑤宝暦・天明期の文化の美術

A　**浮世絵**⇒町絵師(まちえし)の活躍

あ　『**弾琴美人**(だんきん)』『ささやき』『五常(ごじょう)』（**鈴木春信**(はるのぶ)）

☆1765年，一枚刷りの多色刷(ずり)浮世絵版画の**錦絵**(にしきえ)を創始。

い　『**婦女人相十品**(ふじょにんそうじっぴん)』『寛政三美人』『当時全盛美人揃(ぞろえ)』（**喜多川歌麿**(きたがわうたまろ)）

☆蔦屋重三郎(つたやじゅうざぶろう)のもとで，**美人画**（とくに**大首絵**(おおくびえ)）の名手として長く活躍。

う　『**市川鰕蔵**(えびぞう)』『**大谷鬼次**(おおたにおにじ)』（**東洲斎写楽**(とうしゅうさいしゃらく)）

☆蔦屋重三郎のもとで，**役者絵**・相撲(すもう)絵（とくに**大首絵**）の名手として短期間のみ活躍。

B　**写生画**

あ　『**雪松図屏風**(ゆきまつ)』『保津川図屏風』（**円山応挙**(まるやまおうきょ)）

☆**京都**の**円山派の祖**，遠近法を採用。

い　『群鶏図襖(ぐんけいずふすま)』（伊藤若冲(じゃくちゅう)）

☆京都で活躍。

C　**文人画**(ぶんじんが)

中国の**南画**(なんが)の影響を受けた，文人・学者などが余技(よぎ)として描いたもの。

☆『**十便十宜図**(じゅうべんじゅうぎ)』（**池大雅**(いけのたいが)・**与謝蕪村ら**）が有名。

D　**西洋画**

あ　『**西洋婦人図**』　（**平賀源内**）

い　『**不忍池図**(しのばずのいけず)』『三囲景図(みめぐりのけいず)』　（**司馬江漢**(しばこうかん)）

☆平賀源内に学び，安土桃山時代に伝わった腐食**銅版画**(ふしょくどうばん)〔エッチング〕を再興。

う　『**解体新書**（**挿絵**(さしえ)）』『不忍池図』（**小田野直武**(おだのなおたけ)）

☆秋田藩出身，平賀源内に学ぶ。

え　『**浅間山図屏風**』　（**亜欧堂田善**(あおうどうでんぜん)）

☆白川藩主松平定信に仕える。

⑥化政文化の美術

A　**浮世絵**⇒風景画の流行

開国後，モネ・ゴッホなどフランス印象派のジャポニズム〔日本趣味〕に多大な影響を与えた。

あ　『**富嶽三十六景**』『北斎漫画』(**葛飾北斎**)

☆三十六景の46枚のうち，とくに「凱風快晴〔赤富士〕」「神奈川沖浪裏」は有名。

い　『**東海道五十三次**』『名所江戸百景』(**歌川〔安藤〕広重**)

☆五十三次のうち，特に「日本橋」は有名。

う　『朝比奈小人嶋遊』(歌川国芳)

☆幕末期にかけて，世相や政治を批判する錦絵を制作。

B　**写生画**

◇　『**柳鷺群禽図屛風**』(**呉春〔松村月溪〕**)

☆**京都**の円山派から独立した，**四条派の祖**。

C　**文人画**

各地を遊歴した浦上玉堂，江戸の**谷文晁**など。

☆谷文晁の弟子も，三河国田原藩家老の**渡辺崋山**(『**鷹見泉石像**』『**一掃百態**』)，豊後国の**田能村竹田**らが活躍した。

☆美濃国大垣藩の絵馬細香のような女性画家もいた。

４　近代の美術

①明治期の美術学校・美術団体

A　**工部美術学校**(1876～83年)

御雇外国人(おやとい)として**ラグーザ，フォンタネージ**ら**イタリア人**が招かれ，それぞれ彫塑(ちょうそ)・洋画を教授した**官立学校**。

☆のち伝統美術を育成する方針となり，財政難もあり廃止。

B　**東京美術学校**(1887年)

初代校長**岡倉天心**〔覚三(かくぞう)〕と師の**アメリカ人フェノロサ**が設立に尽力した**官立学校**。

日本画・木彫(もくちょう)に重点を置きつつ，1896年以降は洋画・彫塑なども指導。

☆岡倉天心は，『**東洋の理想**』『日本の目覚め』『**茶の本**』などを英文で出版。

C　**明治美術会**　(1889年)⇒“脂派(やには)”

工部美術学校でフォンタネージに学び，のちフランスに留学した**浅井忠**(あさいちゅう)らが結成。

わが国初の西洋美術団体。

☆のち解散し，太平洋画会となる(1902年，満谷国四郎(みつたにくにしろう)ら)。

D　**白馬会**(はくばかい)　(1896年)⇒“外光派(がいこうは)〔紫派(むらさきは)〕”

フランスに留学，ラファエル＝コランに学び印象派の影響を受けた**黒田清輝**(くろだせいき)・久米桂一郎(くめけいいちろう)らが明治美術会から脱会して結成。画壇の主流を形成した。

E　**日本美術院**　(1898年)

東京美術学校校長を退任して**岡倉天心**が設立。日本画中心の美術団体だが，のち経営難により活動停止となり，茨城県五浦(いづら)に移る。

☆岡倉天心の死後，1914年に弟子の横山大観らが東京に戻り再興。**日本美術院展覧会〔院展〕**を開催。

②近代の美術展覧会

A　**文部省美術展覧会〔文展〕**　(1907年)

第一次西園寺公望内閣の文部大臣**牧野伸顕**(まきののぶあき)(大久保利通の子)が創始。文部省や東京美術学校などの関係者の意見を容れ，日本画・洋画・彫刻の３部門からなる総合展覧会を開設。

☆日本の伝統芸術と西洋美術との共栄をはかり，以後も回を重ねた。

B　**帝国美術院美術展覧会〔帝展〕**（1919年）

帝国美術院が設置され，文展が発展・改組。1937年から再び文部省主宰となる（＝新文展）。

☆戦後の1946年，**日本美術院展覧会〔日展〕**となる。

③近代の代表的日本画家

明治期

A　**狩野芳崖**（かのうほうがい）　『**悲母観音**（ひぼかんのん）』

☆東京美術学校設立に協力するが，開校直前に死去。

B　**橋本雅邦**（がほう）　『**竜虎図**（りゅうこず）』

☆岡倉天心とともに東京美術学校・日本美術院を設立。

C　**横山大観**（たいかん）　『**無我**』『**生々流転**（せいせいるてん）』

D　**菱田春草**（ひしだしゅんそう）　『**黒き猫**』『**落葉**（らくよう）』

E　**下村観山**（かんざん）　『**大原御幸**（ごこう）』

F　**竹内栖鳳**（せいほう）　『斑猫（はんびょう）』『アレ夕立に』

☆京都画壇を牽引（けんいん）。

大正・昭和初期

A　**竹久夢二**（たけひさゆめじ）　『**黒船屋**』

☆“夢二式美人”として評判になる。

B　鏑木清方（かぶらぎきよかた）　『築地明石町（つきじあかしちょう）』

C　小林古径（こけい）　『髪』『犬と遊ぶ』

D　前田青邨（せいそん）　『洞窟（どうくつ）の頼朝』

E　安田靫彦（ゆきひこ）　『黄瀬川（きせがわ）の陣』

F　土田麦僊（つちだばくせん）　『大原女（おはらめ）』

G　速水御舟（ぎょしゅう）　『炎舞（えんぶ）』

H　**上村松園**（うえむらしょうえん）　『序の舞』『夕暮（ゆうぐれ）』

☆京都で竹内栖鳳に学ぶ。女性初の文化勲章受章。

④近代の代表的西洋画家

明治期

A　**高橋由一**（ゆいち）　**『鮭』**（さけ）
　☆横浜でワーグマン(英)に学ぶ。

B　**浅井忠**（ちゅう）　**『収穫』**

C　**黒田清輝**　**『湖畔』**（こはん）**『読書』**

D　**藤島武二**　**『天平の面影』**（てんぴょう・おもかげ）
　☆雑誌『明星』や与謝野晶子の歌集『みだれ髪』の表紙も描く。

E　**和田英作**　**『渡頭の夕暮』**（ととう・ゆうぐれ）

F　**赤松麟作**（りんさく）　**『夜汽車』**

G　**青木繁**（しげる）　**『海の幸』**（さち）

H　**和田三造**（さんぞう）　**『南風』**（なんぷう）

大正・昭和初期

A　中村彝（つね）　『エロシェンコ氏の像』『少女』

B　**岸田劉生**（りゅうせい）　**『麗子像**(麗子微笑（びしょう）など)**』**
　☆フューザン会のち草土社（そうどしゃ）や**春陽会**（しゅんようかい）の中心的人物。

C　**安井曽太郎**（そうたろう）　**『金蓉』**（きんよう）
　☆浅井忠に師事。のちフランスでセザンヌに学び，**二科会**に参加。

D　**梅原龍三郎**（りゅうざぶろう）　**『紫禁城』**（しきんじょう）『長安街』『北京秋天』（しゅうてん）
　☆浅井忠に師事。のちフランスでルノワールに学び，**二科会**に参加。

E　萬鉄五郎（よろずてつごろう）　『もたれて立つ人』

⑤近代の代表的彫刻家

明治期

A　**高村光雲**　『**老猿**』『西郷隆盛像』

☆仏師の伝統的技法に西洋の特色を加え，新たな木彫を開く。

B　竹内久一　『伎芸天像』

C　**新海竹太郎**　『**ゆあみ**』

D　**荻原守衛**　『**女**』『坑夫』

☆アメリカやフランスで学び，ロダンの影響が強い。

E　**朝倉文夫**　『**墓守**』『大隈重信像』

大正・昭和初期

A　**高村光太郎**　『**手**』『**鯰**』

B　**平櫛田中**　『**転生**』『**五浦釣人**』